

①道幅が狭く、車道と用水路の仕切りがないため、登下校時に自動車と歩行者が離合する際に危険であるため。

＜対策メニュー＞

・土地改良区との関係があるので現状維持(転落防止柵の設置はできない)

③児童が通学路として利用している道路であるが、横断歩道はあるものの信号機がなく、横断する際に危険を伴うため。

＜対策メニュー＞

・児童への安全指導を行う。  
・信号機の設置は難しい。(交差する道路の交通量が少ない)一時停止の規制はかかっている。

②児童が通学路として利用している道路であり、朝夕の交通量が多く、道路が直線で車のスピードも出やすく危ないため。

＜対策メニュー＞

・児童への安全指導を行う。  
・巡回、交通指導対策を実施。  
・カラー舗装を検討する。  
・看板設置済。

④車両用の信号機のある交差点ではあるが、歩行者用信号機がなく、地域の児童生徒が横断をためらうことが多く、危険であるため。

＜対策メニュー＞

・歩行者用信号機は、本部で検討する。

⑤見通しのよい直線路で、踏切から信号まで自動車はスピードを上げて走っている。しかし、歩道がないため、横断の際、非常に危険である。

＜対策メニュー＞

・横断歩道は難しい。(退避場所なし)  
・カラー舗装を検討する。

⑥片側にしか歩道がなく、自動車はスピードを上げて通行しているので、横断歩道があると、児童の横断の際、非常に安全になるため。

＜対策メニュー＞

・横断歩道は難しい。(道路形状により)パトロールで対応。  
・カラー舗装を検討する。



壬生川小学校通学路対策箇所図